

京都の土地改良



「茶源郷和束の春」第18回水土里ふるさと写真コンクール応募作品

年頭ごあいさつ

京都府土地改良事業団体連合会会長	藤原秀夫	2
京都府知事	西脇隆俊	3
全国土地改良事業団体連合会会長	二階俊博	4
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	進藤金日子	5
農林水産大臣政務官 参議院議員	宮崎雅夫	6

主な活動

令和3年度理事会並びに監事会	7
農業農村整備事業に係る予算確保に向けた要望活動	8
農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動	10
第43回全国土地改良大会 群馬大会	11
令和4年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要	12
全国水土里ネット会長会議顧問 進藤金日子参議院議員と意見交換会	13
叙勲受章者の紹介	14
令和3年度京都府農林水産業功労者表彰	14

事業紹介等

京都府農業農村整備事業表彰式・土地改良区役職員等研修会	15
「京都水土里ネット女性の会」設立総会	16
水土里相談の開催	17
非補助農業基盤整備資金	17
令和3年度換地等技術向上研修	18
令和3年度土地改良区体制強化事業技術実践向上研修	18
第18回水・土・里ふるさと写真コンクール入賞作品	19
土地改良区等紹介（綴喜西部土地改良区）	20
京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組み	21
京都府農業用ため池管理保全サポート協議会の取組み	22
土地改良区のシステム化推進について	23
資格取得者紹介	23

新年のご挨拶

京都府土地改良事業団体連合会
(水土里ネット京都) 会長

藤原 秀夫



新年あけましておめでとうございます。

令和4年の年頭に当たり、京都府土地改良事業団体連合会の会員をはじめ、関係の皆様にご挨拶申し上げます。皆様方には日頃から、本連合会の運営並びに諸事業の推進につきまして、多大のご理解とご協力、ご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の急拡大や減少に翻弄され、日常生活はもとより様々な活動に大きな制約を受けました。本連合会においても、京都府農業農村整備事業推進大会の中止など会員の皆様には何かとご迷惑やご不便をおかけ致しました。引き続き、感染症予防対策に万全を期した上で、組織運営並びに諸事業に当たって参りますのでご理解とご協力をよろしくお願い致します。

さて、国においては、令和3年度から令和7年度の5年間で1期として、土地改良事業の実施の目標及び事業量を定めた「土地改良長期計画」が昨年3月に閣議決定され、産業政策として「生産基盤強化による農業の成長産業化」、地域政策として、「多様な人が住み続けられる農村の振興」、この2つの政策を支える「農業農村の強靱化」が示されました。

また、昨年12月に閣議決定された第5次男女共同参画基本計画では、土地改良区においても、理事に占める女性割合を10%とする数値目標が示され、土地改良長期計画にも同様な内容が明記されるなど、社会全体で女性活躍の推進が期待されています。

本連合会といたしましては、「生産基盤強化による農業の成長産業化」の基盤となるほ場整備の調査設計や「多様な人が住み続けられる農村の振興」に繋がる多面的機能支払・中山間地域等直接支払の推進、「農業農村の強靱化」を達成するためのため池の点検やハザードマップ作成、長寿命化のための土地改良施設の点検などの業務実績を活かし、引き続き会員の要請にこたえていきたいと考えています。

また、土地改良区に関わる女性活躍を一層推進するため、土地改良区職員等の相互連携と情報共有、さらに土地改良区に係る知識を深めることを目的として「京都水土里ネット女性の会」を令和3年11月29日に設立しましたので、会員、関係者のご理解ご協力をいただきながら、女性活躍に向けた環境づくりを推進して参る所存です。

農業農村整備事業関係予算につきましては、昨年末に令和4年度当初予算が、前年を上回る4,468億円（令和3年度4,445億円）を閣議決定され、すでに成立している補正予算の国土強靱化5か年対策・TPP対策等1,832億円と合わせますと、令和3年度と同額の6,300億円となります。このことは、我々土地改良関係者が、地域の声を国政の場に届けるとともに、国政でご活躍の進藤参議院議員、宮崎参議院議員のご尽力の結果であり、引き続き両議員の活動としっかり連携しながら、予算の確保や施策の充実・強化を推進して参りたいと考えております。

新しい年を迎え、会員の皆様と一体となって、農業農村整備関係事業の推進に取り組んで参りますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の早期収束と、皆様方のご家族共々のご多幸、ご清祥をお祈り申し上げます。私の新年のご挨拶と致します。

府民の皆さまと力を合わせ 京都の夢を実現

京都府知事 西 脇 隆 俊



あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の新型コロナウイルス第5波では、これまでに経験したことのない感染拡大を引き起こしました。この波を乗り越えられたのも、すべての府民の皆さま・事業者の皆さま、そして医療従事者をはじめ関係の皆さまのご協力の賜であり、心から感謝と敬意を表する次第であります。

人類が対峙する新型コロナウイルスは、生命や健康を脅かすだけでなく、世界経済をも混乱に陥れました。われわれは感染予防対策を日常生活に取り入れ、ワクチン接種を進め、医療提供体制を整えるなど、この困難を乗り越えるため、力を合わせ立ち向かっています。

「あなたが一人で見える夢はただの夢だ。みんなで見る夢は現実になる

～A dream you dream alone is only a dream. A dream you dream together is reality～」

これは、ヨーコ・オノとジョン・レノンが伝えるメッセージです。

われわれは困難を乗り越えた先に見える「夢」を現実のものとするため、力強く歩まなければなりません。夢の形は人それぞれですが、誰もが夢を抱き、夢に向かってチャレンジすることができる社会を築きたい。そのためには「府民と共に京都夢実現プラン（京都府総合計画）」をさらに前進させる必要があります。

こうした中、これからの京都発展の原動力となる文化庁の京都移転、新名神高速道路の開通、大阪・関西万博の開催が続きます。時機を逸することなく、京都が持つ魅力の源泉である文化の価値をしっかりと国内外に発信することはもちろん、基盤整備を活かした産業戦略と一体となった雇用戦略の展開など、京都の夢を実現するため、着実に取り組んでまいります。

今年は寅年です。「寅」は動くを意味し、芽の出たものが成長していく年です。明治以来初の中央省庁の移転となる、文化庁の京都移転という新しい幕開けに向け、この一年がよりいっそう弾みとなりますよう、皆さまと一緒に夢に向かって邁進してまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会 会長 二 階 俊 博



令和4年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。
新型コロナウイルスの感染が世界各国で拡大する中で、新しい年を迎えることとなりました。我が国では、ワクチン接種が進み感染者数は減少しているものの、世界的には変異株の感染が拡大し予断を許さない状況が続いております。

皆様には、感染防止のためにできることを今一度ご確認ください、コロナ禍を共に乗り越えて頂きたいと願っております。

さて、昨年3月に新たな土地改良長期計画が策定され、三つの政策課題に取り組むこととされました。生産基盤の強化による農業の成長産業化、多様な人が住み続けられる農村の振興、農業・農村の強靱化といった政策課題に対して具体の施策が定められ、中でもスマート農業実装の加速化、ため池の防災対策の集中的かつ計画的な推進、流域治水の推進は、今後の農業農村整備を進める上で大事な要素となってくるものです。

令和4年度予算につきましては、これらの政策課題の解決に向け、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,468億円を確保することができました。この結果、令和3年度の補正予算を含めると6,300億円となります。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

一方、第五次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても土地改良区等の女性理事登用が成果目標とされたところであり、我々、土地改良団体においても将来の組織体制強化のためにも、女性参画を進めていかなければなりません。

私たち土地改良に携わる者としては、政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におき農業農村の振興に積極的に貢献していくことが重要であると考えております。また、農業農村の維持、発展に大きく貢献していることについて広く国民の皆様々にアピールし、共感を得ていく努力も必要であります。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう引き続き奮闘して参りたいと思います。

また、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員と宮崎雅夫参議院議員が元気に全国を飛び回り、まさに「車の両輪」となって活躍されています。本年は進藤さんの2回目の闘いとなりますが、今後は、進藤さん、宮崎さんの活動と連携して、更に一層「闘う土地改良」の浸透が図られるよう念じております。

最後になりますが、輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げます、私の新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員

進 藤 金日子



新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、京都府の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただいてから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円（TPP等対策：774億円、米対策：46億円、国土強靱化5か年加速化対策：1,012億円）です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円（令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、①農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加（現在は区画整理と農地造成のみ）、②「農地耕作条件改善事業」の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等とともに除草機器を追加、③省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、④「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」（防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備）を新設（国費率を従来の30%から50%に嵩上げ）、⑤「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。京都府内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。

新年のご挨拶

農林水産大臣政務官
参議院議員

宮崎 雅夫



京都府土地改良事業団体連合会会員ならびに関係の皆様にご挨拶申し上げます。旧年中は多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年10月発足の岸田内閣ならびに11月の第二次岸田内閣において、農林水産大臣政務官を拝命しました。これも偏に京都府の皆様ならびに、進藤金日子参議院議員はじめ先輩国会議員のご指導とご支援によるものであり、本年も新たな気持ちで現場主義に徹しつつ皆様のご意見をお伺いしながら一層努力して参る所存ですので、引き続きご指導をお願いいたします。

さて、ここ2年に亘り農林水産業はじめ各方面に影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、国民の皆様のご協力により、昨秋以降の新規感染者数は低位に推移していますが、新たな変異株による感染拡大も懸念される昨今の状況からは決して油断することはできません。

経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料の多くを輸入に頼る我が国にとって食料安全保障の確立は重要であり、そのためには我が国の農林水産業の持続的発展が不可欠です。

こうした中、昨年末には、令和4年度当初予算案が閣議決定され、また、臨時国会で令和3年度第1次補正予算が成立し、農業農村整備事業関連予算として合計6,300億円を確保することができました。

令和4年度当初予算では、前年度当初を上回る4,468億円を確保し、農地の大区画化、水利施設の老朽化対策等を推進することとしています。また、令和3年度補正予算では、TPP対策や防災・減災、国土強靱化対策として1,832億円が計上されており、全国の皆様のご要望にしっかりと応え得る規模となっています。

また、これから国会で議論される令和4年度当初予算に関連し、土地改良法改正案を検討することとしており、主な事項として、ため池等の急激な防災事業に豪雨対策を加えること、農地中間管理機構関連農地整備事業の対象に農業用水路等を加えること、市町村や土地改良区が実施する事業へ土地改良事業団体連合会の技術的支援等を可能とすること、また、組織の維持が困難となった小規模土地改良区について、法人格を維持しながら認可地縁団体等に移行できる規定を設けることなどが予定されています。予算と制度が車の両輪となって土地改良の効果が確実に発現できるよう、引き続き進藤金日子議員とともに頑張って参る所存です。

これからも皆様とともに土地改良を推進するため、進藤金日子議員と一緒に国政で取り組んで行けるよう、京都府の皆様の格段のご支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様お一人おひとりとご家族にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。

令和3年度理事会並びに監事会

理事会並びに監事会・監査が開催され、すべての議案が原案のとおり承認されました。

第1回監事会・第1回監査

日時 令和3年7月14日（水）午後1時から

場所 本会役員会議室

〈監事会〉

- (1) 令和3年度の監査計画について
- (2) 令和3年度（第1回）収入支出補正予算の承認について
- (3) 本連合会と理事との契約について

〈監 査〉

- (1) 令和2年度事業報告書
- (2) 令和2年度収入支出決算書並びに財産目録
- (3) 積立金の管理状況
- (4) 現物確認



第1回監事会第1回監査

第1回理事会

日時 令和3年7月17日（土）午前10時30分から

場所 都ホテル京都八条（京都市南区）

〈議事事項〉

- (1) 令和2年度事業報告書の承認について
- (2) 令和2年度収入支出決算並びに財産目録の承認について
- (3) 令和3年度（第1回）収入支出補正予算の理事会専決処分の承認について



第1回理事会

第2回監事会

日時 令和3年12月1日（水）午後1時から

場所 本会役員会議室

〈監事会〉

- (1) 令和3年度（第2回）収入支出補正予算の承認について
- (2) 本連合会と理事との契約について



第2回監事会

第2回理事会

日時 令和3年12月4日（土）午前11時から

場所 都ホテル京都八条（京都市南区）

〈議事事項〉

- (1) 令和3年度（第2回）収入支出補正予算の理事会専決処分の承認について



第2回理事会

農業農村整備事業に係る予算確保に向けた要望活動

令和3年11月12日（金）、本会及び京都府農業農村整備事業推進協議会は、令和4年度の農業農村整備事業の推進に向けて、京都府議会土地改良議員連盟（近藤永太郎会長）と合同で、農林水産省、財務省、自由民主党、関係国会議員に対して要望活動を行いました。



中村農林水産副大臣



野村財務省主計局主計官



高市自由民主党政調会長



二之湯国家公安委員長

令和3年12月16日（木）、近畿農政局大内次長あて、引き続き、京都府西脇知事に要望活動を行いました。



大内近畿農政局次長



西脇京都府知事

＜要望事項＞

■重点事項

高収益作物の導入や農業生産の効率化を支える基盤を作る農業農村整備事業の農家負担の軽減を図るとともに、以下の３点を重点事項として要望する。

1 農業農村整備事業が計画的・安定的に執行できる当初予算の確保

- ・京野菜など高収益作物の導入や担い手への農地集積を促すほ場整備等生産基盤整備の推進
- ・安心して京野菜などを栽培できる環境を確保する農業用排水機場改修の促進
- ・土地改良施設の整備補修と災害の未然防止のための設備改善を進める維持管理適正化事業の制度拡充
- ・老朽化する農業水利施設の長寿命化対策の推進

2 農村地域の国土強靱化の推進

- ・「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策」については、２年目以降も１年目と同様に十分な予算を確保
- ・「農業用ため池管理保全法」や「防災重点農業用ため池防災工事特別措置法」に基づき、ため池改修を推進するための市町村、土地改良区への財政的・技術的支援
- ・豪雨や地震に備えるため池のハザードマップ作成や改修整備の推進
- ・災害復旧事業申請に付帯する設計業務等の支援制度の拡充

3 日本型直接支払制度の予算の確保と制度の充実

- ・多面的機能支払（特に資源向上（長寿命化））、中山間地域等直接支払の交付金の確保
- ・現地駐在の推進員による広域化の伴走支援など活動組織をきめ細かくサポートする京都府地域協議会の活動充実のため推進交付金の確保
- ・これまで培った技術・経験がある土地改良区と活動組織の連携を促進する支援制度の充実

■一般事項

- 4 貴重な農業空間を維持している都市農業地域における土地改良施設の整備・保全対策の農業振興地域と同様の推進
- 5 農村地域の生産基盤と住民の安心安全を支えている土地改良団体に対する技術力の向上と複式簿記の円滑な導入などによる運営基盤強化の支援

京都府土地改良事業団体連合会

会 長 藤 原 秀 夫

京都府農業農村整備事業推進協議会

会 長 田 中 英 夫

農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動

令和3年11月16日（火）、東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーにおいて、「農業農村整備の集い」が、全国の関係者と金子農林水産大臣、武部副大臣、宮崎政務官、全国水土里ネット会長会議顧問進藤参議院議員をはじめ多くの衆参国會議員の参加の下、京都府内からは藤原秀夫会長他3名が参加し、開催されました。



会場の様子



全国各地からの参加者



二階全土連会長のあいさつ



表彰状の授与（女性の活躍の推進）



金子農林水産大臣 祝辞



全国水土里ネット会長会議顧問
進藤参議院議員 祝辞

まず、主催者を代表して二階全土連会長より、「常に我々は、『闘う土地改良』であるべきだとして、農業農村整備予算獲得に向けて団結して頑張らなければならない。」との挨拶があり、続いて女性活躍の推進について功績のあった、日本のひなた水土里ネット女性の会（宮崎県）奥村知扶子会長他に感謝状が贈呈されました。その後、来賓として金子農林水産大臣、自由民主党森山総務会長代行、公明党石田幹事長、全国水土里ネット会長会議顧問進藤参議院議員から祝辞がありました。

最後に、要請書が採択され、参加者全員による「ガンバロウ三唱」で締めくくられました。

この集い終了後、府内からの参加者は衆議院議員会館、参議院議員会館に京都府と縁のある国會議員を訪ね、決議された要請書と京都府内の農業農村整備の実施状況資料により要望活動を行いました。



ガンバロウ三唱

第43回全国土地改良大会 群馬大会

令和3年10月6日、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1年延期された第43回全国土地改良大会群馬大会が、群馬県高崎市「Gメッセ群馬」、東京会場、次期開催県の沖縄会場、各地の参加者をオンラインで結び開催されました。歓迎アトラクションが披露され大会式典が始まり、開会宣言、国歌独唱の後、熊川栄群馬県土地改良事業団体連合会会長が開会挨拶、二階俊博全土連会長が主催者挨拶、群馬県知事と高崎市長の歓迎のことばに続き、金子原二郎農林水産大臣（安倍伸治農林水産省農村振興局次長代読）、小淵優子衆議院議員、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問から来賓祝辞がありました。次に土地改良事業功績者表彰では、京都府から河井規子木津川市長様が全土連会長表彰を受賞されました。

その後、安部伸治農林水産省農村振興局次長から、「未来（あす）の土地改良」と題して基調講演、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問から、この5年間の活動実績の報告がありました。

大会宣言は、群馬県立吾妻中央高校の関空翔さんと黒岩梓紗さんが、先人達から引き継いだ「水・土・里」の農村の宝を、後世にもしっかりと引き継ぎ、本日、全国の仲間と共に歴史をつむぎ、新しい時代の土地改良へ向け進んでいくことを、「鶴舞う形 群馬の大地 水土里の未来へここから羽ばたいて」のスローガンのもと、上州の地、群馬から高らかに宣言されました。

最後に、次期開催県である沖縄県に大会旗の代わりに目録が引き継がれ、群馬県の副会長の挨拶で閉会となりました。



二階全土連会長主催者あいさつ



全国土地改良事業団体
連合会長表彰受賞
河井規子氏

大会宣言

私たちが住む群馬県は、大空を舞う鶴の形に似ていることから「鶴舞う形の群馬県」として、広く県民に親しまれてきました。

時代に向け、新たな土地改良長期計画が閣議決定され、生産基盤の強化による農業の成長産業化、地方移住など農村に人が住み続けるための条件整備、そして頻発化・激甚化する災害に対応した、排水施設整備やため池の防災対策による農業・農村の強靱化を目標とし、「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現を目指しています。

私たち上州人は、昔から仲間達と糸をつむぎ、鶴舞う形のこの大地を耕してきました。私たちに、今ある美しい農村を守っていく義務があります。先人達から引き継いだ「水・土・里」の農村の宝を、後世にもしっかりと引き継いでいきます。本日は全国の仲間と共に歴史をつむぎ、新しい時代の土地改良へ向け進んでいくことを、「鶴舞う形群馬の大地水土里の未来へここから羽ばたいて」のスローガンのもと、ここ上州の地、群馬から高らかに宣言します。

いま、全国の農村では、都市に先駆け高齢化や人口減少が進み、農地、農業用水等の管理や、営農の継続が困難になるなどの課題に直面しています。また、令和に入ってから、元年の東日本台風を始め、2年・3年の豪雨など、大きな災害が相次いでいます。そしてパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症の影響により、経済、社会、人々の生命や生活が脅かされ、

第43回 全国土地改良大会 群馬大会

令和4年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

令和4年度農業農村整備事業関係当初予算の政府案が、令和3年12月24日、前年から13億円増額の4,468億円で閣議決定されました。令和3年度補正予算1,832億円と合わせて、昨年度と同額の6,300億円となります。

○令和4年度当初

(単位：億円)

	4年度 予算案
・農業農村整備事業〈公共〉	3,322 (3,317)
・農業農村整備関連事業（非公共） （農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業） 農山漁村振興交付金	540 (518)
・農山漁村地域整備交付金〈公共〉	591 (595)
・政府情報システム予算	15 (15)
計	4,468 (4,445)

※下段（ ）書きは、令和3年度当初予算額

○令和3年度補正

(単位：億円)

	補正 予算案
・防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策〈公共〉	1,012 (1,155)
・TPP対策	774 (700)
・米の臨時特別対策	46 (-)
計	1,832 (1,855)

※下段（ ）書きは、令和2年度補正予算額

全国水土里ネット会長会議顧問 進藤金日子参議院議員と意見交換会

令和3年7月27日（火）、国営事業によりほ場整備が進む亀岡市において、国営亀岡中部地区の現地視察、亀岡市内の土地改良区関係者との意見交換会を開催しました。

国営亀岡中部地区の現地視察では、近畿農政局亀岡中部農地整備事業所の石山所長から工事の進捗状況、亀岡市亀岡中部土地改良区齊藤理事長から地元の取組状況などの説明があり、その後、亀岡市役所会議室において、亀岡市内の土地改良区関係者（約20名）と意見交換。意見交換会では、老朽化ため池の早期整備の要望や、ほ場整備の効果として農作物の生産拡大・安定などが言われるが、農家所得の向上がないと土地改良は評価されないなど、地域の実情を伝える有意義な会となりました。



亀岡中部地区現地視察



亀岡市内関係者との意見交換

令和3年11月29日（月）、綴喜西部土地改良区（八幡市・京田辺市）喜多理事長始め理事等8名と意見交換会、同土地改良区が管理する八幡排水機場の現地視察が行われました。

意見交換会では、京野菜の生産が拡大する中、都市化も増々進展しており、三川合流地で湛水防除を目的に築造された排水機場の老朽化が著しいので早期改修が必要等の要望がなされ、その後の現地視察では、築造後約60年の排水ポンプの重厚さ、長寿命に驚かれていました。



綴喜西部土地改良区
関係者との意見交換



八幡排水機場現地視察

叙勲受章者の紹介

令和3年秋の叙勲受章者が発表され、土地改良関係者1名が受章されました。



旭日双光章（地方自治功労）

あしだ ひろし
芦田 廣 氏

福知山市議会
議員（H7.5～H23.4（H18.5～H19.4副議長））
福知山市豊富用水土地改良区
理 事（H24.10～H28.10）
理事長（H28.10～現在に至る）

令和3年度京都府農林水産業功労者表彰

令和3年11月27日（土）、京都市伏見区の京都府総合見本市会館（パルスプラザ）において開催された令和3年度京都府農林水産業功労者表彰式典において、多年にわたり農林水産業等に関する団体の役員として当該団体の発展に寄与し、農林水産業の振興及び発展に顕著な貢献をされた、右の5名の土地改良関係者が受賞されました。受賞者の皆様おめでとうございます。



右から岩田恵一氏、片山義久氏、澤田晶介氏、古川與志次氏、伊藤常務理事

古川 與志次（ふるかわ よしつぐ）
城陽市青谷土地改良区

多年にわたり、城陽市青谷土地改良区等の役員を務め、公共事業等の開発と農業との調和を図りながら、地域の農業振興に寄与する一方、城陽市農業振興協議会委員も務めるなど、団体の発展と農業の振興・発展に貢献した。

片山 義久（かたやま よしひさ）
南丹市園部町大西井堰土地改良区

多年にわたり、南丹市園部町大西井堰土地改良区の役員を務め、用水源となる井堰や幹線水路の日常点検及び維持管理に取り組み、用水供給の安定化に寄与するなど、団体の発展と農業の振興・発展に貢献した。

澤田 晶介（さわだ まさすけ）
三俣土地改良区

多年にわたり、三俣土地改良区の役員を務め、亀岡市と南丹市にまたがる200haを超える農地や土地改良施設を維持管理し、適正かつ安定的な農業用水の供給に尽力するなど、団体の発展と農業の振興・発展に貢献した。

岩田 恵一（いわた けいいち）
船井郡瑞穂町土地改良区

多年にわたり、船井郡瑞穂町土地改良区の役員を務め、ほ場整備事業等で造成された土地改良施設の維持管理及び更新に取り組み、地域の農業経営の基礎を支えるなど、団体の発展と農業の振興・発展に貢献した。

西村 昭雄（にしむら あきお）
綾部市西原土地改良区

多年にわたり、綾部市西原土地改良区の役員を務め、揚水機、ため池等農業用施設の維持及び改修に取り組むなど、団体の発展と農業の振興・発展に貢献した。

京都府農業農村整備事業表彰式・土地改良区役職員等研修会



会長あいさつ



会場風景



表彰式

京都府農業農村整備事業表彰式・土地改良区役職員等研修会を令和3年11月29日（月）、京都市左京区の国立京都国際会館において127名の参加により、開催いたしました。

第1部の京都府農業農村整備事業表彰式として、第18回水・土・里ふるさと写真コンクールの入賞者の表彰（受賞作品P.19）、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため表彰式が中止された以下の全国表彰の伝達を行いました。

令和2年度全国土地改良事業功績者表彰（伝達）

農林水産省農村振興局長表彰
（前）京都府土地改良事業団体連合会常務理事
久田 吉治

令和3年度全国土地改良事業功績者表彰（伝達）

全国土地改良事業団体連合会長表彰
木津川市長
河井 規子

第62回全国土地改良功労者等表彰（団体表彰）

全国土地改良事業団体連合会長表彰
南部土地改良区
全国土地改良事業団体連合会長表彰
船井郡瑞穂町土地改良区

第62回全国土地改良功労者等表彰（個人表彰）

稲田 宗夫 （前）巨椋池土地改良区理事長
宮崎 良三 （前）京都大原土地改良区理事長
赤松 義隆 京都府土地改良事業団体連合会業務課担当課長

第2部の土地改良区役職員等研修会では、初めに全国水土里ネット会長会議顧問・参議院議員進藤金日子様から、「この5年間を振り返って」として、これまで5年間、国政にて取り組まれた政策提案、法改正、関係予算の確保などについてご講演をいただきました。

次に、九州大学大学院農学研究院教授平松和昭様から、「新たな土地改良長期計画の概要」として、令和3年3月に閣議決定された「土地改良長期計画」について、農林水産省政策審議会の部会長として策定に関わられた立場から、課題や今後の目標になる情報をご講演いただきました。

最後に、京都府農林水産技術センター農林センター所長古谷規行様から「京都米、京野菜の品種開発と生産振興について」として、これまで研究者として品種改良を手懸けてこられた京のブランド産品の特徴や育種の経過について、豊富な知識と経験に基づく貴重な内容をご講演いただきました。



全国水土里ネット会長会議顧問
進藤参議院議員



九州大学大学院農学研究院
平松教授



京都府農林水産技術センター
農林センター 古谷所長

「京都水土里ネット女性の会」設立総会

令和3年11月29日（月）、国立京都国際会館において、「京都水土里ネット女性の会」設立総会を開催いたしました。

水土里ネット女性の会としては、全国では25番目の設立となり、参議院議員宮崎雅夫様および全国水土里ネット女性の会様より、設立のお祝いメッセージをいただきました。

議事では、女性の会の規約、役員の選任および令和3年度の活動計画について承認されました。役員として、会長には相楽郡川西土地改良区の森本明代様、副会長には洛西土地改良区の山本佐江子様、木津土地改良区の植野久子様が選任され、29名の会員でスタートしました。

その後、来賓としてご臨席いただいた、全国水土里ネット会長会議顧問参議院議員進藤金日子様より、「農業・農村における女性の活躍について」と題して、全国の活動事例紹介など今後の活動の参考となる講演をいただきました。

今後の活動は、事務局を本会が担当しますが、会員の皆様の負担とならないよう、かつ有意義な活動となるよう尽力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。



女性の会設立総会



会員の皆様



藤原会長挨拶



進藤参議院議員講演

水土里相談の開催

令和3年度は、例年どおり、巡回によりスタートし、本会からは女性活躍推進の取組、補助事業制度（水路等、ため池、ほ場整備）について、京都府からは男女共同参画、土地改良施設安全管理について情報提供させていただいた上で、事前相談についての意見交換を行いました。なお、8月20日に、4回目の緊急事態宣言が発令され、それ以降の水土里相談は中止させていただきました。

相談内容の年次推移は下表のとおりです。本会としましては、会員の抱える多くの課題について、引き続き水土里相談等を通じて把握し、行政と連携して課題解決を支援してまいりますのでよろしくお願いいたします。

相談内容と件数の推移

項 目	29年度 件数	30年度 件数	元年度 件数	2年度 件数	3年度 件数
1 土地改良区の運営について	32	56	33	6	5
2 土地改良施設について	56	30	20	6	20
3 会員支援事業について	8	5	8	1	4
4 要望等について	1	0	7	6	25
5 多面的機能支払交付金との関わりについて	1	2	0	0	0
6 事前質問の提出について	17	20	31	19	21



綾部支部



亀岡支部

水土里相談の開催風景

非補助農業基盤整備資金

非補助農業基盤整備資金は、土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、施設の補修・更新などの事業に取組み、農業生産基盤の保全管理・整備の推進を図る場合、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し長期・低利で融資する資金です。

なお、農業集落排水など農村生活環境の整備や国の補助対象ではない府又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

■対象となる事業種類

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道（軌道等運搬施設を含む。）、畦畔整備、農地造成、防災、農地保全、維持管理、農業集落排水（宅地内配管、トイレ、浴室、洗面所の改修等）、土地改良区事務所、事務機器、車両、調査費など。

■融資条件

ご利用いただける方：土地改良区、土地改良区連合等

償還期限：最長25年（据置期間10年以内）

融資限度額：地元負担金（最低限度額50万円）

金 利：0.30%（令和3年12月20日現在）

融資のご相談・お問い合わせ

農協、信連、各市町村役場、府広域振興局、
京都府土地改良事業団体連合会、
日本政策金融公庫京都支店
農林水産事業融資課（075-211-2147）

令和3年度換地等技術向上研修

京都府自治会館において、令和3年度換地等技術向上研修を下表のとおり開催いたしました。

研 修 名	開催年月日	会 場	参加人数
換地事務新規担当者研修会	令和3年8月4日(水)～8月5日(木)	ホテルルビノ京都堀川 朱雀の間	9名
換地計画実務研修会	令和3年11月25日(木)～11月26日(金)	京都府自治会館ホール	5名

換地事務新規担当者研修会では、近畿農政局農村振興部土地改良管理課 松尾農地集団化推進官及び京都府農業会議農村創生部 多田農地利用最適化推進課長から換地事務に必要な関係法令、理論についてご講義いただきました。



また換地計画実務研修会では、本会職員が講師となり、換地計画書の作成について実習形式での研修を2日間開催しました。

さらなる知識の習得を目指し、令和4年度についても換地技術等向上研修会の開催を検討しておりますので、積極的なご参加をよろしくお願いします。

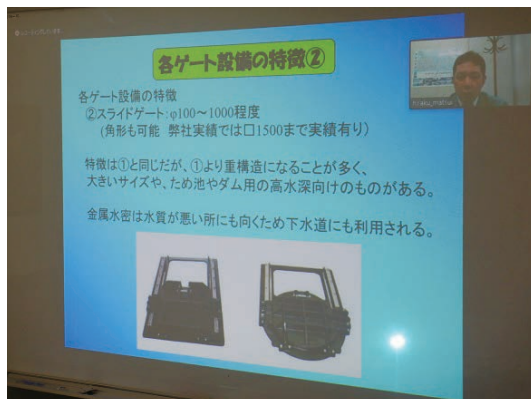


令和3年度土地改良区体制強化事業技術実践向上研修

令和3年11月17日に「土地改良区体制強化事業技術実践向上研修」を開催し、web参加及び会場参加合わせて32名の出席がありました。

本研修会では、例年多くの相談が寄せられるゲート施設について、丸島産業（株）を講師にお招きし、ゲート施設の仕組みや簡易な点検方法など、日常の管理に必要な知識・技術について研修を行いました。

併せて、土地改良施設の機能低下の防止、機能回復等を目的とする整備補修の補助事業である土地改良施設維持管理適正化事業の事務手続きや、土地改良工事に必要な積算手法について、本会職員から紹介しました。



丸島産業 研修様子



研修会場様子

第18回水・土・里ふるさと写真コンクール入賞作品

「次世代に引き継いでいきたい身近なふるさとを感じる写真」を基本テーマに行われた第18回水・土・里ふるさと写真コンクール（主催：京都府土地改良事業団体連合会）に、194点の応募があり、6月30日（水）の審査委員会において、金賞1点、銀賞2点、銅賞2点、佳作7点が決定され、11月29日（月）開催の令和3年度京都府農業農村整備事業表彰式において表彰を行いました。

本年度も引き続き第19回水・土・里ふるさと写真コンクールの実施・募集を行っておりますので、積極的な応募をお願いします。



金賞「田植えの準備」
白木 文枝

撮影場所 宮津市由良町



銀賞「家路」
永田 一良

撮影場所 八幡市上津屋橋



銀賞「あら！イケメン」
田村 宏

撮影場所 宇治市小倉町



銅賞「精霊船」
梅原 隆

撮影場所 舞鶴市宇小橋



銅賞「希望の灯」
白木 勇治

撮影場所 京丹後市網野町

審査委員長 講評

コロナ禍で応募点数は若干減りましたが、自然と共に暮らす私たちの日々の営みを撮影した素晴らしい作品が多く寄せられました。

金賞に輝いた白木さんの「田植えの準備」は、青空に映える由良川鉄橋をバックに田植えをする農家を絶妙の構図とタイミングで切り取りました。水田を大胆に取り入れた構図が見事。鉄橋を渡る列車が良いアクセントとなりました。

銀賞を受賞した永田さんの「家路」は、夕日と橋を渡る親子のシルエットをポイントとして風情ある「流れ橋」の夕景を演出しました。同じく銀賞の「あら！イケメン」は、田村さんのユーモアセンスが光ったほのぼのとした作品です。

今後、新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、人と人、人と自然のつながりが増えることで、より多くの素晴らしい作品が集まることを願ってやみません。

（京都新聞社写真部長 奥村清人）

土地改良区等紹介

綴喜西部土地改良区

関係市：八幡市、京田辺市 地区面積：826ha 組合員数：2,076人

【管理施設】排水機場 4 箇所、幹線排水路 2.3km、支線排水路24.5km、井堰・水門 8 箇所
揚水施設13箇所、幹線用水路11.3km、支線用水路27.6km、パイプライン17.2km他

◆始まりは昭和3年

昭和3年の府営事業による旧八幡排水機場の建設に始まり、以来、排水幹線の整備や排水機場の増設など、排水対策を中心に土地改良事業が実施され、また、近年では府営ほ場整備事業により優良農地の整備が大規模に実施されました。そうした恩恵により、今では、九条ねぎや小松菜、田辺なすやえび芋などの高収益作物の生産をはじめ、都市近郊の地の利を活かし、多様な農業が展開されています。そして多くの若い担い手が頑張っています。土地改良区は、施設の維持管理を通じ、都市近郊農業を支えています。



九条ねぎ



田辺なす

◆老朽化する施設を順次改修中!! — 府営事業により排水機場の改修に着手 —

多くの施設は、昭和20年～30年代に築造されたもので、耐用年数を大きく超え老朽化が著しく、そのため事業制度を活用し、順次計画的に改修を進めています。

基幹施設である排水機場については、京都府にお世話になり、府営事業として改修していただくこととしており、まずは、京田辺市に在る田辺排水機場の改修について、令和元年度に事業採択をいただき、現在鋭意、改修を進めていただいています。

【事業名】府営農村地域防災減災事業 田辺排水機場地区

【工 期】令和元年度～8年度 【事業費】約18億円

【内 容】全面改修、排水能力倍増（2.5m³/秒→5.0m³/秒）

続いて、八幡市に在る八幡排水機場の改修について、現在計画策定中で、事業採択に向け関係機関と調整しているところです。



田辺排水機場（昭和34年築造）



八幡排水機場（昭和38年築造）

◆大住土地改良区を吸収合併 — 土地改良区の体制強化を図っています。 —

大住土地改良区は、府営ほ場整備事業大住地区の推進と造成施設の維持管理を目的に平成4年度に設立されました。

この間、約70haの優良農地が整備され、関連する事業も完了したことから、地区重複の解消と維持管理体制の一元化を図ることを目的に吸収合併したものです。

合併予備契約の調印、合併総会の開催を経て、令和3年10月1日付けで合併の知事認可を受け、これにより29年続いた大住土地改良区は解散となりました。



合併調印式の模様

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組み

第12回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール

農と水と環境を良好に保全する地域ぐるみの活動の大切さを子どもたちに気づいてもらい、併せて、本コンクールの広報活動を通じて、広く府民への周知を図ることを目的に、「第12回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール」を実施したところ、483点の応募がありました。

受賞作品は、令和3年12月6日（月）～12月12日（日）、イオン福知山店において開催した「農と環境を守る展示会」において展示しました。また、令和4年1月14日（金）～1月20日（木）、イオンモールKYOTOにおいて展示することとしています。

受賞作品は協議会ホームページ（<http://www.nouchimizu-kyoto.jp/>）に掲載しております。



展示会の様子

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会優良表彰

農地・水・環境の良好な保全と質的向上を目指し、日本型直接支払制度及びその推進に資する活動に取り組み、地域ぐるみで効果の高い活動や、先進的な取組を実践している優良な組織等を表彰することにより、関係者の意欲の高揚を図るとともに、各地での取組の更なる充実を促進することを目的に、平成25年度から優良表彰を実施しています。

■令和3年度優良表彰受賞組織

受賞組織の詳細は協議会ホームページ（<http://www.nouchimizu-kyoto.jp/>）に掲載しております。



京都府知事賞
糠塚環境保全会（宇治田原町）



京都府農業協同組合中央会長賞
三河内地区活動組織（与謝野町）



京都府土地改良事業団体連合会長賞
大場農地管理組合広域協定（綾部市）

ラジコン草刈機実証調査

多大な労力を要する畦畔の草刈り作業について、ラジコン草刈機等を用いて省力化し、さらに広域での作業受委託が可能な仕組みを構築するため、特に傾斜地が多い中山間地域において、その普及を念頭に置いた実証調査を京丹波町と与謝野町で実施しました。

なお、ラジコン草刈機による実証調査の様子は、協議会Youtubeチャンネル（<https://youtu.be/JUvtC9Gh3w4>）にて動画をアップしております。



ラジコン草刈機実証調査のようす

京都府農業用ため池管理保全サポート協議会の取組み

活動状況

農業用ため池の決壊による水害その他の災害を防止するため、ため池の適正な管理及び保全が図れるよう、ため池管理者が行う日常の管理、保全活動を地域に配置した「地域指導員」とともに支援しています。

ため池管理者からの相談内容は、ため池の管理、点検方法の他、堤体や取水施設の漏水、損傷などの対応方法に関するものが多く、補修や改修に至る内容については、市町村担当部局への相談を含めて現地指導（相談）を実施しています。

今後の活動

令和3年度は、ため池劣化状況評価の円滑な推進に協力するため、100箇所以上の防災重点ため池の調査を実施しました。

令和4年度も、ため池管理者への現地指導とため池調査を積極的に実施します。



現地指導状況（土壌補修作業）

土地改良区のシステム化推進について

本会では、会員支援の一環として、土地改良区の事務効率化のため、パソコン導入及びシステムソフト導入に対し支援しています。

本記事では、パソコンで多くの情報を扱う現在、情報漏洩等の危険からパソコンを守るセキュリティの重要性について、簡単にご紹介します。

Question & Answer

Q なぜセキュリティが必要なのか？

- A パソコンがウイルスに感染すると様々な悪影響が生じます。
- ・パソコンが利用できなくなり業務が止まる
 - ・情報の漏洩に伴い、社会的信頼の低下や罰則・損害賠償など
 - ・データをロックされ、解除の為に身代金を要求される事例もある
 - ・・・その他様々なリスクがある。

セキュリティソフトはウイルスからパソコンの中の大切な情報を守る役目を果たしています。

Windows10には「Windows Defender」というセキュリティ保護機能が標準搭載されており、ネットに接続することにより最新の状態に更新することが出来ます。小まめな更新を意識し最新の状態を保つことでウイルス感染予防に繋がります。

その他、ウイルスバスターなど有償のセキュリティソフトを導入することで、さらにリスクは軽減されます。

土地改良区の健全な運営のため、パソコンのセキュリティ対策をご一考ください。

資格取得者紹介

無人航空機（ドローン）の操縦技能証明証を取得しました

技師 宮脇 駿 技師 松本 万由子
技師 坂口 有佳 技師 加藤 隆丈

本会の技師4名が、令和3年6月30日～7月3日に「一般社団法人 DPCA」によるDRONEフライトオペレーター講習会を受講し、10時間の飛行訓練を経て操縦技能証明証を取得しました。これにより、ドローンの人口集中地区での飛行や夜間飛行、日中での目視外飛行が可能となりました。ドローンを活用することでより一層会員の皆様のお力になれるよう頑張っていますので、よろしくお願いします。



DRONEフライトオペレーター講習会の様子



故郷を想う
水土里の情景
第19回
みず つち さと
水・土・里
ふるさと
写真
コンクール
作品募集

「水・土・里」を基本テーマとした、
地域の自然環境や景観、
農業や農業用施設との関わり、
人とのつながりを映した
写真を募集します。

〈応募期間〉
令和4年3月25日(金)まで

〒602-8054
京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町
104番地の2 京都府庁西別館
京都府土地改良事業団体連合会
〈お問い合わせ〉TEL (075)451-4137
E-mail info@midorinet-kyoto.jp
<http://www.midorinet-kyoto.jp>

 水・土・里ネット京都
～未来に伝えたい京都の農業農村～
京都府土地改良事業団体連合会

みどり
水・土・里ネット京都

京都府土地改良事業団体連合会

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2 京都府庁西別館

TEL(075)451-4137 FAX(075)414-2777

E-mail : info@midorinet-kyoto.jp

URL : <http://www.midorinet-kyoto.jp>